

経営比較分析表（令和2年度決算）

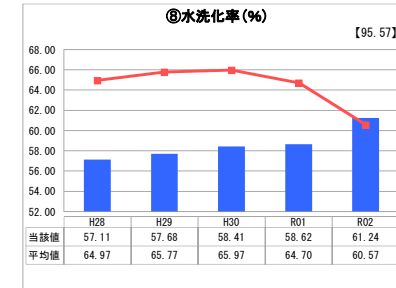
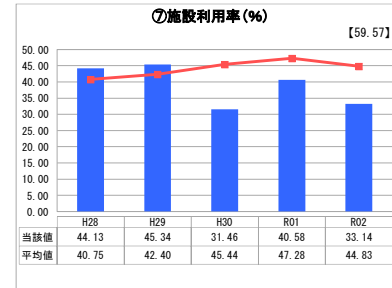
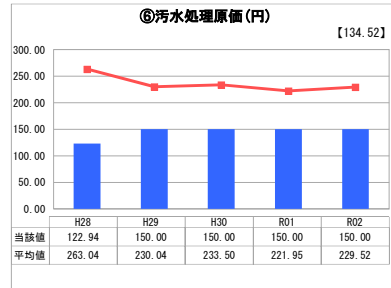
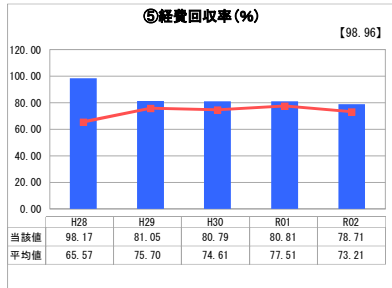
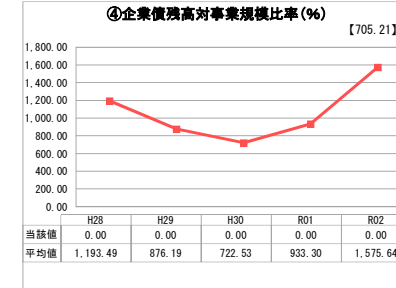
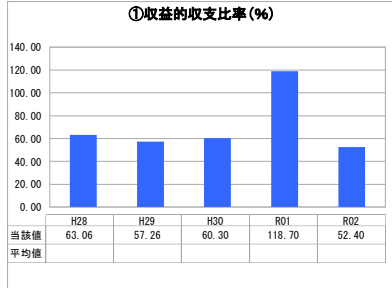
静岡県 森町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	26.81	80.62	2,200

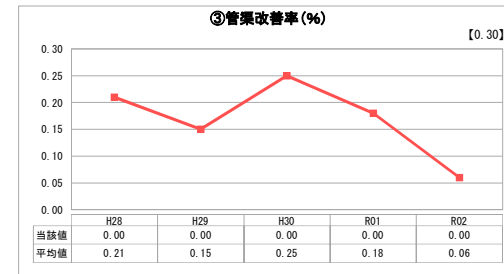
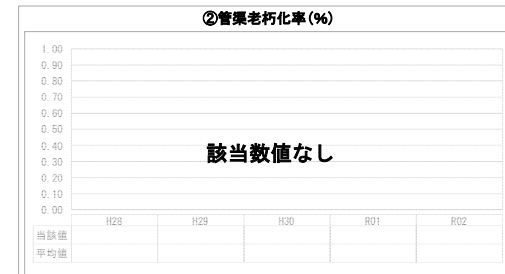
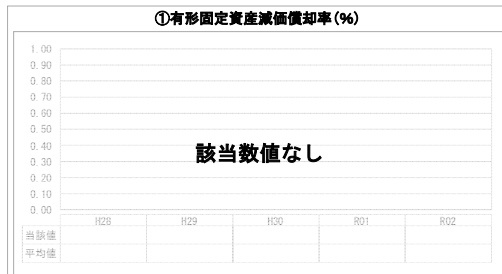
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,979	133.91	134.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,786	1.84	2,601.09

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率については、前年度と比較し一般会計繰入額を減額したことにより収支比率が減少した。依然として一般会計繰入金に頼った経営である。未普及対策として毎年度管渠整備を行い、下水道供用開始区域を拡大し下水道使用料の増収を図っているが、それに伴い事業費に対する地方債借入額も増加するため、今後も健全な経営を回り、経常経費の削減や料金改定等を検討する必要がある。

②経費回収率については、供用開始区域拡大に伴い汚水処理量も増加傾向にあるが汚水処理費も増額しているが、それに対して思うように下水道接続が進まないため、下水道使用料の増収が伴わず、一般会計繰入金により補填しているのが現状である。今後は、接続促進や汚水処理費の削減、料金改定等の検討をする必要がある。

③汚水処理原価については、供用開始区域拡大により汚水処理量が増加傾向にあり、有収水量も増加しているが、依然として不明水も発生しているため、汚水処理費用増額の要因のひとつとなっている。今後も接続率向上と併せて不明水の原因究明と対策を検討する必要がある。

④施設利用率については、平成30年度に浄化センターの増設が完了したことにより比較的余裕をもって汚水処理が可能となっている。令和2年度は、供用開始区域拡大により流入量は増加しているが、効率的な汚水処理により処理水量が減少しているため利用率が減少となった。

⑤水洗化率については、供用開始区域拡大により増加となっているが、接続率が当初計画より大幅に下回っているため、今後も継続して接続促進に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

下水道事業の開始から年月が浅く、施設が新しいため該当数値がない。

全体総括

当町の公共下水道事業は、平成21年に供用開始し、現在、未普及解消に重点を置いて事業計画を実施している。現状では、当初計画より下水道接続率が低く有収水量も過少であるが、今後、下水道整備区域の拡大により下水道利用可能人口が増加することに伴い有収水量も増加し、収益が増加し経営改善していくものと思われる。また、維持管理にかかる経費については、施設が比較的新しく、当浄化センターの処理方式が維持管理費が掛からない処理方法でもあることから、類似団体と比べるとやや良い数値となっている。今後も下水道処理区域の拡大を進めるなかで、接続率及び水洗化率の増加に努めていかなければならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。